

平成27年度小松島市新規事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート（事前評価）

事務事業名	ごみ袋販売事業			整理番号	— —
				担当課係	市民生活課 環境企画・公害担当
事業予算費目	款	4	衛生費	記入者職・氏名	
	項	2	清掃費	内線等	
	目	4	環境対策総務費	事業区分	経常事業
	大事業	2	ごみ袋関係経費	事業期間	平成 6 年 ~ 年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2 小松島市における廃棄物の処理及び清掃に関する条例				

■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）

本市の指定ごみ袋制度は、分別の徹底とごみの減量化、収集作業員の安全確保等を目的に、小松島市ごみ対策検討委員会の提言を受け、平成6年4月から実施している。指定ごみ袋を透明または半透明とするとともに、

- ①ごみの分別収集の徹底による減量化やリサイクルの推進
- ②材質はダイオキシン類や塩化水素など有毒ガスの発生を抑えたものとする
- ③収集作業時のごみ袋の破裂防止による収集作業員の安全面の向上やごみ収集作業の迅速化、効率化などを図った。

また、26年度には、ごみを出すときの利便性の向上を図るため、燃えるごみ（大）袋のレジ袋式を導入するとともに、高齢者や単身世帯向けに特小サイズのごみ袋を導入している。

事業の内容	手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）
	指定ごみ袋の規格を定めて製造し、市内販売店に販売を委託する。
事業の目的	効果（事業実施によってどういう状態・結果に結びつけるか）
	指定ごみ袋の利用により、ごみの分別の徹底、減量化及び再資源化を推進し、市民のごみ減量化に対する意識の向上を図ることを目的とする。

■総合計画(後期基本計画)との整合性

事業目的が総合計画(後期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(後期基本計画)上の位置付け	●	重点目標	基本目標
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	2. 「安心」のまちづくり	
			中項目	③生活環境への阻害要因の減少	
			小項目	1. 環境への負荷の少ない循環型都市の構築	

(理由)

総合計画（後期基本計画）では、「環境への負荷の少ない循環型都市」の構築をめざし、ごみ問題への意識啓発を行い、ごみの分別の徹底とリサイクルの推進をめざす」とされていることから、その趣旨と合致している。

■他の自治体の類似する政策との比較検討

市町村名	価格(10枚当たり)			市町村名	価格(10枚当たり)			市町村名	価格(10枚当たり)	
徳島市	導入なし			藍住町	大250円	中150円	小100円	神山町	大315円	
鳴門市	大350円	中250円	小150円	北島町	導入なし(市販透明袋に限る)			佐那河内村	大300円	
阿南市	導入なし(市販透明袋に限る)			松茂町	導入なし(市販透明袋・又は半透明)			勝浦町	大250円	小150円
小松島市	大250円	小200円	特小100円	板野町	大210円	小105円		上勝町	導入なし	
美馬市	大300円	小150円		上板町	大250円	中200円		那賀町	大300円	
三好市	指定袋制だが市場価格(大で110円)			石井町	大180円	小160円	特小130円	美波町	大315円	小273円
吉野川市	大200円	中170円	小150円	東みよし町	大115円	中95円		牟岐町	大315円	小273円
阿波市	大250円	中200円		つるぎ町	大315円	小158円		海陽町	大315円	小273円

県内導入率：75%
平均単価：大266円
全国料金水準分布：
大袋1枚30円台がもっとも多い料金帯（環境省資料）

(有)・無) ○を入れてください。

事業の対象	対象（誰、何を対象にしているのか）
	市民
事業の意図	意図（事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか）
	指定ごみ袋の利用により、ごみの分別の徹底、減量化及び再資源化を推進し、市民のごみ減量化に対する意識の向上を図る。
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	（市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか）
	議会からは、指定ごみ袋の廃止への意見、または値下げして更なる分別意識啓発に取り組むべきとの意見がある。また、小松島市衛生組合連合会で行ったレジ袋型についてのアンケート調査を行い、評価をいただいている。
事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか？	（社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺状況等は今後どのように変化していくか）
	環境省からは、「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」において、「経済的インセンティブを活用した一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革を進めるため、一般廃棄物処理の有料化の推進を図るべき」との方向性が示されている。本市のごみ処理には6億円を超える経費が必要となっており、排出責任による公平性の観点、またごみの減量化の取り組みからも、こうした国の方針を踏まえた対応が必要となっている。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

		全体計画	27年度	28年度	29年度	30年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	0					
		地 方 債	0					
		その他（利用者負担等）	209,600	52,400	52,400	52,400	52,400	
		一 般 財 源	844	211	211	211	211	
	A 直接事業費（千円）	210,444	52,611	52,611	52,611	52,611	0	
	人件費	正 規 職 員 数	3.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	人	人
		職 員 人 件 費 ①	12,712	3,178	3,178	3,178	3,178	
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 数	0.00 人	人	人	人	人	人
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 の 賃 金 等 ②	0					
	B 人件費計（千円）①+②	12,712	3,178	3,178	3,178	3,178	0	
A + B	223,156	55,789	55,789	55,789	55,789	0		

有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> a ない	理由	指定ごみ袋を利用することにより、ごみの減量化やリサイクルの促進に効果があるほか、ごみ減量化意識の向上及び家庭ごみの排出抑制の観点からも必要である。
	② 類似事業との整理統合はできないか？	<input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> a できる	理由	指定ごみ袋の製造については、入札による事業者選定から、製造、発注及び支払いまで類似事業がないため、他の事業と統合することは難しい。
	③ 成果をさらに向上させる余地はありますか？	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> a ある	理由	レジ袋型や特小サイズ導入など行ったが、利便性の向上と排出抑制の観点などを踏まえつつ、製造と販売収入の差額について更に検討する必要がある。

◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。

有効性	①	
	②	
	③	ごみの減量・再資源化の推進に必要な事業であるが、製造にかかるコストが不安定であり、年度間でも製造と販売の差が生じている。今後も同様の状況が続くことが想定され、販売収入の位置付け等について検討が必要である。

所属長による総合的なコメント

一般廃棄物処理事業をめぐる国の施策の方向性、本市の財政事情なども勘案しつつ、廃棄物処理事業とごみ袋製造に係るコストも一体的に考慮し、指定ごみ袋の販売収入の位置付け等について検討する必要がある。